

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.25
平成27年2月24日

バトンをつないで70周、1年生のリレーマラソン

「がんばれ、がんばれ！」応援の大歓声が上がる中、1年生全員がバトンをつなぐリレーマラソンに挑みました。この取り組みは、桜小では初めての企画で、1年生が初めてチャレンジしてくれました。

今日まで1年生の子たちが、体育の時間等で練習しているのを見かけましたが、本当に楽しそうにやっています。また、15分放課のランニングタイムを待ちわびている子やグラウンドコンディションが悪くて中止になってしまったときには、とても残念がる子がいるほどです。こうした前向きな雰囲気の学年集団をつくりあげてくれた1年生の先生方に感謝します。

全員が心をひとつにして、バトンをつないで運動場70周を走り切る。素晴らしいことです。一人一人の「えらくてもがんばろう、バトンをつなぐんだ！」という強い意志がバトンに託されて、最後までつながっていく。とても感動的なシーンでした。

全員が走り終えたときの嬉しそうな笑顔、達成感に満ちた笑顔が、春の気配が漂い始めた校庭で輝いていました。



全校朝礼の話より（2／23）

インフルエンザもようやく収まってきて、今日は、インフルエンザによる欠席はゼロです。卒業式・修了式まであとわずかなので、くれぐれも健康に気を付けながら、新しい学年に向けて、6年生は、中学校に向けて最後の締めくくりを行ってください。

さて、先日、A中学校の同窓会報がとどきました。この学校は、毎年、卒業生が組織する同窓会の新聞を、同窓会に入っている卒業生やかつてA中学校で勤務したことのある教職員宅に郵送してくれます。

その会報に目を通すと、懐かしい先生の思い出を綴った記事を見たので、注意深く読みました。その先生は、バスケの顧問・担当の先生で、わたしもよく練習試合をしましたし、一緒に名古屋の高校にお願いして、合同練習に行ったこともありました。

その先生は、かつて全国中学校総合体育大会に出場したことがある実績のある先生でした。平成20年にも愛知県のバスケ新人大会の決勝の舞台に登りつめたそうです。そのメンバーの中に当時、バスケプレーヤーとしては、あまり表舞台に立てなかった生徒だったのですが、校庭の外周を走るランニングでは、いつも飄々と走り続け、自己タイムを更新することに頑張っていた生徒がいたそうです。その先生は、その生徒にバスケではなく、陸上への進路選択を進めたそうです。

そして、高校では陸上部に所属し、中距離でスピードを身に付け、大学では長距離に転向し、3年生になった今年度は、駅伝ランナーなら誰もがあこがれる、あの箱根駅伝で往路7区を快走したそうです。

少し前の朝礼で箱根駅伝に出場し、「山の神」として一躍有名になった神野大地選手（神守中学校出身）の紹介をしました。同じ箱根駅伝に海部地区の津島出身の二人が出場していたことを知り、本当に驚きましたし、その活躍をととても嬉しく思いました。同郷のこの二人の大学生は、私たちに粘り強く諦めないで努力すれば、夢はかなうことを教えてくれました。

今、桜小ではランニングタイムを行っていますが、校長先生は、ランニングタイムで見る1年生の成長した姿にととても感動し、嬉しくなります。集合整列はととても速く、準備運動では大きな声で号令をかけてやっています。そして、何よりも嬉しいことは、みんなが目標をもって、それに向かって楽しんでやっていることです。

このように、どんなことにも夢や目標をもち続け、決して諦めずにその達成のために努力を続けていってください。そして、いつの日か桜小学校出身の子が、いろいろな舞台で大輪の花を咲かせてくれることを願っています。